

# とやま

県広報とやま

2000

1  
月号

各世帯配布版 No.370

富山県



みんなで応援2000年国体

## 特集 県政'99 一年のできごと

クローズアップ いよいよ開幕 2000年国体



2000年国体の開幕まであとわずか。冬季大会開会式の練習も大詰めを迎えています。  
(大山町立上滝小学校、中川立子モダンバレエ研究所の皆さん)



富山県知事

中沖 豊

# 天空を

# 翔る

明けましておめでとうございます。西暦二〇〇〇年の輝かしい初春を、県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

現代は、国内外とも、まさに「天変動の時代」ですが、こうした先行き不透明な時代こそ、何よりも、明確なビジョンを持つこと、また、これを勇気を持って実行することが極めて重要です。

富山県では、新富山県民総合計画に基づき、「人づくり」「郷土づくり」「産業づくり」の三つの政策を柱に、全国に誇ることのできるふるさとづくりを積極的に進めてきています。

また、現在、新しい総合計画の策定準備に取り組んでいます。知恵と汗を出し、「県民の計画」「先見性のある計画」にしたいと考えています。

これからの富山県は、三つの方向をめざすことが重要であると思います。

一つは、富山県は大変「住みよい県」として高い評価を受けていますが、さらに「住みたい県」へ発展することです。

二つは、環日本海時代を迎え、「環日本海交流の中心県」へ飛躍することです。

三つは、こうした施策を実行するために、人づくりを進め、「人材育成のパイオニア県」をめざすことです。

このために、①健康、福祉、教育、文化、産業、景気対策など、県民ニーズに応えること、②環日本海施策、高速交通体系や情報通信基盤の整備など、二十一世紀の県づくりを進めること、③少子・高齢化時代を迎え、明るく元気な子どもや高齢者をつくることに積極的に取り組んでいきます。

そして、今年はいよいよ二〇〇〇年国体が開催されます。新しい千年紀（ミレニアム）に開催される「ミレニアム国体」ですが、県民の皆様と力を合わせて、この国体を成功に導き、富山県が二十一世紀に向けて大きく飛躍する契機にしたいと考えています。

また、これらの施策を着実に実行していくため、住民と地方が主役となる「地方集権」の実現と、効率的な行政運営をめざす「行政改革」の推進に積極的に取り組みたいと思います。

今年、辰年。辰は意気盛んにして天空を翔るといわれます。二〇〇〇年という節目の年に、県民の皆様が元気よく活躍し、富山県が大きく飛躍しますよう願ってやみません。

新年にあたり、県民の皆様への県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈りし、新年のあいさつといたします。



# 県政'99 一年のできごと

特集

県では昨年、健康・福祉、教育・文化、景気対策など県民ニーズに応えるための施策に取り組むとともに、人づくり、交通・情報通信体系の整備、環日本海施策など21世紀に向けた県づくりを進めました。ここでは、昨年一年間の県政を政策の柱に沿って振り返ってみましょう。

## I 明日を拓く 人づくり

### 健康・福祉の増進

■県民一人ひとりに合った健康づくりをお手伝いする富山県国際健康プラザ（とやま健康パーク）がオープンしました。（7月）



■第三十五回献血運動推進全国大会が皇太子ご夫妻をお迎えして開催されました。（7月）

■介護サービス計画（ケアプラン）を作成する介護支援専門員の養成など、介護保険制度の円滑な導入に向けた準備を進めました。また九月には、介護保険制度をマンガでわかりやすく説明した冊子を各世帯に配布しました。



■福祉を支える人材の養成、福祉や介護についての情報発信、ボランティア活動の支援などを行う富山県総合福祉会館がオープンしました。（11月）



■車いすから乗降しやすい福祉タクシーの購入に対する助成制度を新たに設けるなど、福祉のまちづくりを進めました。

### スポーツ・レクリエーションの振興

■国体の競技別リハール大会の開催を支援するなど2000年とやま国体の開催準備を進めました。

■県西部における体育・スポーツの中核施設、富山県西部体育センターがオープンしました。（7月）



■中学二年生が学校外で職場体験やボランティア活動などを行う社会に学ぶ十四歳の挑戦を実施。

■小・中・高校に、カウンセリングなどの専門家を生徒指導支援スタッフとして派遣するなど、いじめや不登校対策を進めました。



### 生涯学習の推進

■県立図書館がリニューアルオープン。利用時間を一時間延長（平日は午後七時まで）したほか、貴重本をデジタル画像で閲覧できる情報プラザを新設するなど、サービスも充実しました。（7月）



科学・文化の振興

■産学官が連携して研究開発を行い、新しい技術を生み出すというRSP事業(地域研究開発促進拠点支援事業)を進めました。

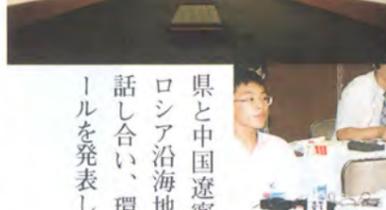
■日本文化の美を紹介する富山県水墨美術館がオープン。横山大観展には五万八千人が来場しました。(4月)

■桜町遺跡を全国に紹介するとやま縄文フェスティバルの開催や柳田布尾山古墳



恐竜の歯の化石

の発掘調査を支援しました。また、六月に肉食恐竜の歯の化石が発見された大山町の恐竜足跡化石露頭面については、今後、恐竜骨格化石を対象とした調査が進められることになりました。



■子どもたちの国際性を育つため、環日本海子どもフォーラムを開催。富山県と中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方の中学一年生が話し合い、環日本海子どもアピールを発表しました。(8月)

■二十四時間対応の子育てほっとラインを開発するなど、家庭教育についての相談体制を充実しました。(10月)

子育てほっとライン  
☎ 076(433)4150  
受付時間  
月～金曜日 10:00～23:00  
土曜日 17:00～23:00  
※その他の時間はFAXで対応

長寿・余暇社会への対応

■高齢者によるヘルパー活動に助成するなど、元気な高齢者の活動を支援しました。



12歳立山山登山



■北陸自動車道朝日IC上越IC間の四車線化と、東海北陸自動車道福光上平間、能越自動車道福岡高岡間については、平成十二年度内の完成をめざして工事が進められています。

■富山北大橋の四車線化(富山市)、南郷大橋の新設橋(高岡市・大門町)、立山大橋(立山町・大山町)が相次いで完成。渋滞解消や主要観光地へのアクセス改善に向け、主要道路の整備が進みました。(11月)



四車線化された富山北大橋

■県内平野部で初めての北陸新幹線の工事として、黒部川橋りょうなどの工事が始まりました。(11月)



■富山県が事務局を務めている北東アジア地域自治体連合の実務委員会が開催され、環日本海諸国の自治体による共同事業等について話し合いが行われました。(7月)

■富山県と中国遼寧省との友好県省締結十五周年を記念して友好代表団が相互に訪問し、記念式典や記念美術展などが開催されました。(5月・10月)



■県が運営を支援している(財)環日本海環境協力センターがNOWPAP(北西太平洋地域・海洋行動計画)の地域活動センターに指定されました。(4月)

魅力ある郷土づくり

快適な暮らしの実現

■「たっしやけ気つけられエ」運動を毎年実施するなど高齢者の交通事故防止に努めました。また、道路照明や反射板などの効果的な配置によって夜間の交通安全対策を進めました。



■国の環境影響評価法が定める環境アセスメントの内容をさらに充実させる富山県環境影響評価条例を制定しました。(6月)

■富山広域圏のごみ処理施設や砺波広域圏の最終処分場の整備に助成。ダイオキシン類対策など、廃棄物の適正処理に努めました。



富山広域圏ごみ処理施設(完成予想図)

■大気や土壌等のダイオキシン類の濃度測定や河川の環境ホルモンについての調査を実施しています。

■砺波平野の散居の風景を守り伝えていくための基本計画(散居村田園空間計画)の策定に取り組みました。



県土の保全と活用

■平成十年豪雨で浸水被害が発生した都市河川などの災害防止策を検討するため、河川現況調査を実施しました。

■立山の室堂平で整備を行っていた新立山自然保護センター(仮称)の建物が完成。今年七月中旬のオープンに向けて準備を進めています。

交通・情報通信体系の整備

■富山空港と天連周水子国際空港との友好空港提携の調印が行われ、富山・大連便の発展と友好交流の一層の促進をめざして、研修交流や情報交換が進められることになりました。(10月)

活力ある産業づくり

新世紀への産業展開

■企業・県民行政の連携による「創造的」事業活動が活発に行われる環境づくりを基本理念とする富山県新産業ビジョンを策定しました。(6月)

■デザインを通じて県内企業の売れるモノづくりを支援する富山県総合デザインセンターがオープン。富山県産業高度化センター、高岡市デザイン・芸芸センターとともに、高岡オフィスパークの中核施設として活動を開始しました。(9月)



農林水産業の振興

■米づくりの省力化、低コスト化を図るため、直播栽培に必要な機械の導入に助成するとともに、共同で効率的な農作業を行う集落営農組織の育成に努めました。



■平成十年に開催された第八回全国食文化交流プラザの成果を引き継ぐ食祭とやま'99 inふくを開催しました。(11月)

工業、商業、サービス業の振興

■北東アジア地域の経済交流の促進を目的に、展示商談会や投資環境説明会などを内容とするNEAR21(北東アジア経済交流EXPO)が開催され、大きな成果を収めました。(10月)



■厳しい経営環境にある中小企業を支援するため、各種融資制度や信用補完制度によって資金の円滑化に努めました。また、過剰な取り立てなどが問題になっている商工ローンについて、中小企業等からの苦情や相談を受け付けました。

商工ローン苦情相談電話  
TEL076(444)8700



■県民の皆さんを一日部長に委嘱して県政に対する意見や提言をいただく「一日庁議」が十一月一日に開催され、活発な意見交換が行われました。これは、県が昭和六十年から毎年開催しているもので、今年で十五回目となります。

■今回委嘱されたのは、県内の各分野で活躍されている十名の皆さん。十一月十六日に中沖知事から辞令交付を受けた後、それぞれの部局から重点事業等についての説明を受けた後、主要な施設を視察

12月 1日

### 活発な意見と提言相次ぐ。一日庁議



民間の管理職登用率が極めて低いという現状があります。女性の社会進出に向けては、積極的に取り組んでいきます。「これからは施設の建設よりも、その維持活用を図る方向で工夫していきます」などと答弁。「県のホームページがわかりにくい」という指摘に対しては、「早速、改善に向けて検討します」と約束しました。

■また、「農業の地味なイメージを払拭するために、農業が工夫次第で収益のある『脳業』、若者にも魅力のある『NOW(ノウ)業』であることをもっとPRすべき」といったユニークな提言も出され、知事が「県の農業施策のキャッチフレーズに使いたい言葉ですね」と感心する一幕もありました。

■県では、一日庁議で出された意

見や提言を検討し、今後の県政に反映させていくこととしています。

●問合せ 企画部広報課  
☎076(444)3133

### 一日部長の皆さん

- 総務部長 ナルシサ・ウイ・ユさん (英語教室講師)
- 企画部長 松島 和美さん(会社役員) とやまの方言を考える会(未来財団) 委員
- 生活環境部長 横越 照正さん(神職) 21世紀とやま青年機構(WTA) 会長
- 厚生部長 新村 純子さん(看護婦) 富山県訪問看護ステーション連絡協議会会長
- 商工労働部長 梅崎 潤さん(会社社長) RSP事業地域研究開発促進拠点支援事業 新技術・新産業創出研究会委員
- 農林水産部長 今城 朱美さん(農業) 高岡市女性農業士協議会委員
- 土木部長 辻 和夫さん(洋服店経営) 黒部まづつくり協議会
- 2000年国体局長 山口 昌広さん(会社社長) きらりんびつっく富山ふれあい運動推進協議会副会長
- 企業局長 渡邊 総明さん(会社役員) 富山県管工用水道利用者協議会会長
- 教育長 鈴木 京子さん(薬剤師) 富山県PTA連合会副会長

### とやまの情報お伝えします!

【1月の県政番組】 ※タイトルは、いずれも仮題です。

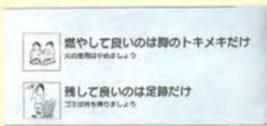
こんにちは富山県です	北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00~11:30
9日 県産材振興	
16日 とやまの博物館	
23日 ふるさと探訪(福光町)	
30日 冬のおすすめスポット	
とやま超発見! フォーカス・イン2	富山テレビ 毎週日曜 9:00~9:30
9日 新年を迎えて	
16日 冬の科学	
23日 とやまの建築	
30日 世界のお正月	
富山見たモン勝ち	チューリップテレビ 第4日曜 10:00~10:52
1月の放送はお休みします。次回の放送は2月27日です。	
とやま県間録	FMとやま 毎週月曜~木曜 11:30~11:40 毎週土曜 11:30~11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

- 新聞広報「県からのお知らせ」1月15日に掲載
- 富山県ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

### 富山ほっとスペース

福野町園芸植物園(フローラルパーク)の駐車場で不思議な案内板を見つけました。



燃やして良いのは胸のトキメキだけ

要するに「園内で火を使わないで」ということのようなのです。このほかにも、案内板には「残して良いのは足跡だけ(ごみは持ち帰りましょう)」とか、「とって良いのは写真だけ(草花を傷つけないように)」など、植物園からのお願いがユーモアたっぷりに書かれています。



こんな風に言われると、ストレートに注意されるよりも、何だか素直に言うことをきいてしまいそうな気がします。

制作者のセンスの良さに思わず感心してしまいました。

このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。気の利いた案内板などを見かけたら、写真や簡単な地図を添えてお知らせください。掲載分にはお礼を差し上げます。

送付先 〒930-8501(住所記載不要)  
県庁広報課「富山ほっとスペース」係

### 主なできごと(平成11年1月~12月)

- 1月 4日 国体イメージソング「あいの風」完成
- 2月20日 山田村を皮切りに地域振興券の交付開始
- 2月26日 2月定例県議会(～3月16日)
- 4月 7日 (財)環日本海環境協力センターがNOWPAPの地域活動センターに指定
- 4月16日 境A遺跡の出土品が、県内考古資料としては2件目の国重要文化財に指定
- 4月29日 富山県水墨美術館オープン
- 5月12日 県内初のNPO法人の認証
- 5月26日 新総合計画策定に向けた課題研究会がスタート
- 5月28日 柳田布尾山古墳発掘調査(～9月28日)
- 5月31日 第1回やさしい福祉のまちづくり賞表彰式
- 6月11日 散居村田園空間計画策定委員会が初会合
- 6月14日 6月定例県議会(～25日)
- 6月16日 大山町で恐竜の歯の化石が発見される
- 6月24日 富山県新産業ビジョン策定
- 6月28日 富山空港初のハワイへのチャーター便が就航
- 富山県環境影響評価条例制定
- 6月30日 2000年とやま国体標準献立発表会
- 7月 5日 知事のまちまわり(福光町)
- 井波中学校を皮切りに、社会に学ぶ14歳の挑戦がスタート(～11月20日)
- 7月 9日 富山県国際健康プラザ(とやま健康パーク)オープン
- 7月14日 北東アジア地域自治体連合実務委員会(～15日)
- 7月15日 富山県西部体育センター完成
- 7月22日 第35回献血運動推進全国大会(皇太子ご夫妻ご来県 7月21日～23日)
- 桜町遺跡で国内最古の屋根が出土
- とやま縄文フェスティバル(～8月5日)
- 7月26日 日本の棚田百選に長坂(氷見市)、三集(八尾町)の2地区が選定
- 7月28日 県立図書館リニューアルオープン
- 8月 1日 伏木港開港100周年記念式典
- 8月11日 子どもとやま県議会
- 8月19日 ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'99(～22日)
- 8月22日 環日本海子どもフォーラム
- 8月23日 12歳立山登山(～24日)
- 8月24日 富山県雇用対策推進本部設置
- 8月26日 全国運河サミットinとやま
- 8月28日 富山国際会議場(大手町フォーラム)オープン
- 小沢首相来県、山田村を視察
- 8月31日 知事のまちまわり(大沢野町)
- 9月 1日 2000年国体富山県実施本部設置
- 9月 3日 富山県総合デザインセンター等3施設(サン・センター)がオープン
- 9月10日 富山県総合的雇用対策策定
- 9月16日 9月定例県議会(～30日)
- 9月17日 アジア・アマチュア演劇サミット日本会議 in 利賀(～18日)
- 9月23日 県民芸術文化祭'99 オープニングフェスティバル
- 10月 1日 介護保険の要介護認定申請受付スタート
- 10月12日 富山県・遼寧省友好関係省締結15周年記念式典
- 富山空港と大連周水子国際空港との友好空港提携調印
- 10月13日 NEAR21(北東アジア経済交流EXPO)(～15日)
- 10月15日 歩くアルペンルート完成
- 10月16日 きらりんびつっく富山1年前イベント「きらりんフェスタ'99」
- 10月18日 知事のまちまわり(宇奈月町)
- 10月26日 環日本海環境保全国際フォーラム in TOYAMA'99(～27日)
- 11月 4日 知事のまちまわり(婦中町、山田村)
- 11月 6日 食祭とやま'99 in ふくの(～7日)
- 11月11日 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)オープン
- 2000年とやま国体の成功を期する大会
- 11月19日 北陸広域連携観光振興会議(北陸WAC21)
- 11月22日 南郷大橋新設橋完成(25日富山北大橋4車線化、27日立山大橋完成)
- 12月 6日 12月定例県議会(～20日)
- 12月25日 200X年冬の火祭り(31日カウントダウン)

■雇用と勤労者福祉

■厳しい雇用情勢に対応するため、九月に富山県総合的雇用対策を策定。民間企業による雇用の維持・創出を支援するとともに、新たに基金を設置して雇用・就業機会の創出のための事業に取り組みました。



八尾町の実験 ショップ

■平日の夕方や土曜日にも求人情報を閲覧できるハローワーク情報プラザを開設して求人情報の提供機能を強化するとともに、合同就職(再就職)面接会の開催回数も増やし、新規・再就職を支援しました。



### IV 21世紀をめざして

■平成十三年度からの新しい総合計画の策定準備に本格的に着手。二十一世紀初頭における県づくりの課題等について調査研究を行うとともに、アンケート調査、提案募集など県民参加による計画づくりを進めました。

■全国の新聞や首都圏のテレビなどにユニークな広告を展開。注目を集めるとともに、新聞広告賞優秀賞やギャラクシー賞奨励賞を受賞するなど高い評価を得ました。(3月)



世界三天野生生物映像祭のひとつ「ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'99」が開催されました。(8月)

■新富山県行政改革大綱に基づき、組織機構の簡素合理化や事務事業の見直しを推進。三月には、職員削減の数値目標(平成十二年度から五年間で一般行政部門の概ね五%)など中期的な重点課題とこれに対する方針等を明確にした行政改革推進方針を策定しました。



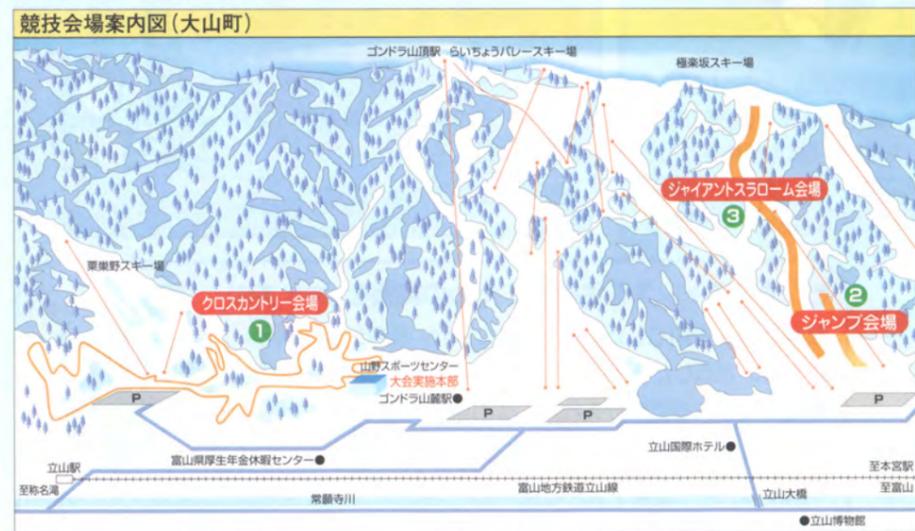
# 2000年の感動が、白いステージから始まる。

■日程のご案内(各競技はどなたでも自由にご覧になれます。)

競技等	2/20 (日)	2/21 (月)	2/22 (火)	会場 (①~④は会場案内図の番号)
クロスカントリー	9:30~	13:00~	10:00~	① 粟巣野特設クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ			9:30~	② 富山県スキージャンプ場
コンバインド	ジャンプ	9:30~		② 富山県スキージャンプ場
	クロスカントリー	9:30~		① 粟巣野特設クロスカントリーコース
ジャイアントスラローム	9:00~	9:00~	9:30~	③ 極楽坂スキー場ジャイアントスラロームコース
バイアスロン(公開競技)		9:00~		④ 上平タカノスキー場特設バイアスロン競技会場
スキー競技会閉会式			16:00~	大山町立社会体育館

※バイアスロン競技の開始式は、2月20日(日)16:00より上平村立上平小学校体育館で開催されます。  
 ※スケートアイスホッケー競技会は、青森県で開催されます。

## ■会場のご案内



第55回国民体育大会 あいの風 夢のせて  
**2000年とやま国体**  
 ●冬季大会 2月19日(土)~22日(火)  
 ●夏季大会 9月9日(土)~12日(火)  
 ●秋季大会 10月14日(土)~19日(木)

自分とチャレンジ! あしたにチャレンジ!  
 第36回全国身体障害者スポーツ大会  
**きらりんぴっく富山**  
 10月29日(土)~29日(日)

環境にやさしい国体のために、ひとりひとりから。  
 ごみの減量化のため、各会場にお持ちになった食品の包装紙・残り物などのごみは原則としてお持ち帰りくださるようお願いいたします。お持ち帰りできない場合は、所定のごみ箱に分別してお入れください。ご協力をお願いします。

●大会についてのお問い合わせはハローダイヤルで(1月16日から開設)  
**ハローダイヤル(9:00~20:00)**  
**TEL 076(431)8600**  
 または#8886(プッシュ回線のみ)  
 ホームページもご利用できます。2000年国体ホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/kokutai/>

2000年国体富山県実行委員会  
 〒930-0094 富山市安住町2番14号  
 北日本スクエア5F  
**TEL 076(444)9667**  
**FAX 076(444)9669**

競技写真提供/北日本新聞社

## いよいよ開幕 2000年国体

新しいミレニアム(千年紀)が始まりました。  
 2000年国体は、この記念すべき年に開催される「ミレニアム国体」です。  
 2月19日に始まる冬季大会から、ときめきと感動がスタート!  
 真っ白な舞台に、熱いドラマが繰り広げられます。  
 みんなの夢をのせた2000年国体、いよいよ開幕です。  
 さあ、一緒に感動の世界へ!



国体ボランティア「あいの風メイト」の皆さん(冬季大会の基礎研修にて)

**2000年 未来の扉 とやまから**  
 中谷 智美さん(大山町)の作品

## 感動の1年が始まる。

今年の富山は感動がいっぱい。冬季大会、夏季大会、秋季大会、きらりんぴっく富山(第36回全国身体障害者スポーツ大会)と、1年を通して熱戦が繰り広げられます。会場は、県内すべての市町村。あなたのまちにもドラマが待っています。また、2000年国体は、みんなの国体。私たち一人ひとりの積極的な参加が国体の成功につながります。参加の方法は、いろいろ。選手を温かく迎えること、応援すること、まちをきれいにすること、ボランティアに参加すること。できることから参加してみましょう。感動の輪が広がり、きっと素敵な1年になるはずですよ。

## ようこそ!

温かい気持ちを表現したい!

国体では、選手をはじめ、全国から、たくさんの方が富山を訪れます。「ようこそ」の気持ちで温かく迎えます。誰でも、他のまちへ行って親切にしてもらったら、とてもうれしい、いいまちだと思いますよね。駅で、道で、会場で、あなたの笑顔とふれあいが心を伝えます。富山のよさをアピールして、全国に富山ファンを広げましょう。

**つくろうね すてきな国体物語**  
 甲田 詩織さん(富山市)の作品

## すばらしい!

スポーツの感動を体験しよう。

国内トップレベルの選手たちが競い合う国体には、限界に挑戦しつづける人間のパワーがみなぎっています。2000年国体は、トップレベルの競技を間近で観戦し、スポーツのすばらしさを体験する絶好の機会です。惜しみない声援と拍手で、選手たちと感動を分かちあいましょ。

## がんばれ!

がんばれ! 富山の選手たち!

あなたの応援が選手のエネルギー。  
 2年前の国体では男女総合11位、昨年は7位。富山の選手たちは、着実に力を付けています。選手にとって、応援は大きなエネルギー。きっと活躍の力になります。全県に広がる会場に出かけて、熱い声援を送ってください。  
**熱い声援 みんなで燃えよう 2000年国体**  
 宮本 由くん(富山市)の作品

## うれしい!

スタンプを集めれば、すてきな景品がもらえる。

「2000年国体スタンプラリー」  
 指定のスタンプ帳に各会場にある時丸のスタンプを5会場分集めて応募すると、抽選で海外旅行などの景品が当たります。スタンプは、冬、夏、秋の各大会、リハーサル大会、きらりんぴっく富山の会場に設置。スタンプ帳は、各競技会場、スポーツ施設、スポーツ用品店、県庁、市町村役場にありま。

**時丸のミニガイド**

- クロスカントリー**  
起伏のあるコースをスキーで走る競技だよ。スキーで森を駆けめぐっていたのが始まりなんだ。順位はタイムで決定。何キロも走るんだよ。みんな、がんばれ!
- スペシャルジャンプ**  
ジャンプは2回。飛距離点と飛型点の合計で順位が決まりまーす。
- ジャイアントスラローム**  
大回転競技のこと。国体特別規則により、1回の滑走タイムで順位が決まるんだ。
- コンバインド**  
1日目がジャンプ、2日目はクロスカントリー。クロスカントリーのスタート順(タイム差)は、ジャンプの成績で決まる。先にゴールした人から順位が決まるんだよ。

## 近代美術館

富山市西中野町1-16 12  
076(42)1711

**アートジャングル こどもとたんけん**  
[1/30(日)まで]  
子どもたちを中心に当館の収蔵作品を鑑賞してもらおう現代美術展。  
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円

**セゾン現代美術館 コレクション展**  
[2/18(金)~4/2(日)]

9:30~17:00 (休)月曜(1/10を除く)・祝日の翌日(1/11)・2/7~14  
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



## 立山博物館

立山町芦峯寺93  
076(48)11216

**常設展示**  
立山の自然や立山信仰について解説します。  
※まんだら遊苑は、3月末まで休苑です。

**展望館(映像ホール)の上映時刻**  
10:00, 11:00, 13:00, 14:00, 15:00  
(「立山山麓茶室絵図」と「風-立山1995」を上映)

9:30~17:00  
(休)月曜(1/10を除く)・祝日の翌日(1/11)  
展示館 一般 300円 高・大 240円 小・中 150円  
展望館 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円



## とやま健康パーク

富山市友杉1-15-1  
076(42)80809

**産後ママのための健康づくり教室**  
[第1・3・5水曜 10:20~11:50]  
スリムな体型に戻るためのエアロビクス  
1,200円(入館料込) ※託児あり(無料)

健康スタジアムは平日夜10時までオープン(日・祝は夜7時まで)利用料金には、運動ウェアやタオル、バスタオルの使用料が含まれているので手ぶらでOKです。仕事帰りなどにも気軽にどうぞ!

(休)月曜(1/10を除く)・1/11  
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)  
1日 1,800円/2時間半 1,500円/1時間 1,000円



## 中央植物園

婦中町上柳田42  
076(46)4187

**企画展示「私の植物画展」**  
[1/14(金)~2/2(水)]  
一般から募集した植物画を展示します。

**日曜植物案内**  
[1/9(日) 11:00~12:00]  
[2/6(日) 11:00~12:00]

熱帯雨林植物室と熱帯果樹室は、点検・整備のため入室できません。なお入園料は通常の半額となっています。

9:00~17:00 (休)木曜・祝日の翌日(1/11)  
一般 300円 小・中 150円



## ウッドリウム富山

小杉町黒河新4-9-40  
076(66)1570

**趣味の木工教室(道具編)**  
[1/23(日) 9:00~] 要申込  
材料を組み立てて大工道具箱を作ります。  
材料費3,000円

**(組み木編)**  
[2/13(日) 9:00~] 要申込  
組み木でひな人形を作ります。  
材料費1,200円

9:00~16:30 (休)火曜・祝日の翌日  
一般 220円 小・中 110円  
(工作室を使用する場合)



## 埋蔵文化財センター

富山市茶屋町206-3  
076(43)42814

**企画展「越のクニ誕生」**  
[9/7(木)まで]  
越(こし)と呼ばれる日本海沿岸の地域には、律令国家に組み込まれるまで独特の文化が栄えていたといわれています。県内遺跡の資料から「越」におけるクニ誕生の様子を紹介します。

9:00~17:00 土曜・日曜・祝日  
入館無料



## 水墨美術館

富山市五福7-7  
076(43)10779

**常設展示「近代水墨画の系譜」**  
横山大観、前田青邨など、近代の代表的な作家の水墨画を展示。

**常設展示「下保昭作品室」**  
富山県出身の日本画家、下保昭氏の作品を展示。  
※下保昭の新作を紹介する「下保昭展」が2/22(火)~3/26(日)に開催されます。

9:30~17:00  
(休)月曜(1/10を除く)・祝日の翌日(1/11)  
常設展示観覧料(展示室以外は無料) 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



## 立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前  
076(48)11660

**常設展示**  
立山カルデラの自然や人のかかわりを、ジオラマや映像などで解説します。

**ハイビジョン映像の上映時刻**  
10:00, 11:00, 13:00, 14:00, 15:00, 16:00  
(「立山カルデラ 大地のドラマ」(立体映像)と「もうひとつの立山」を上映)

9:30~17:00  
(休)月曜(1/10を除く)・祝日の翌日(1/11)  
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円



## こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド内)  
076(66)9000

**節分会**  
[1/30(日) 12:30~13:30, 14:30~15:30]

**お正月遊び**  
[2/13(日)まで]  
お正月にちなんだ楽しい遊びが体験できます。

**造形発見広場「メタル」**  
[2/27(日)まで]  
金属が奏でる色々な音が楽しめます。  
材料代100~300円

9:30~17:00  
(休)火曜・第4水曜・祝日の翌日(1/11)  
入館無料



## 県民公園太閤山ランド

小杉町黒河4-7-416  
076(66)6116

**左義長祭り**  
[1/16(日) 11:00~15:00]  
福引き(園児・小学生先着500名)や、おしるこサービスなど

**ベタンク太閤山ランド大会**  
[1/29(土) 9:00~15:00]  
新しいスポーツのベタンクで、冬の運動不足の解消と仲間づくりを!

9:00~17:00 (休)火曜・祝日の翌日、1/26  
入園無料(3月までは駐車場も無料)  
※日・祝と第2・第4土曜日には園内無料バスも運行しています。



## らいちょうパレースキー場

大山町本宮  
076(48)11000

**2000らいちょうパレー雪の祭典**  
[2/12(土)・13(日)]  
主な内容  
2/12 山麓鍋無料配布、たいまつ滑降  
2/13 雪の女王コンテスト、ミニコンサート

8:30~17:00 毎日ナイター営業(17:00~21:00)  
3/5までの土曜・祝前日は23:00まで営業  
1日券 中学生以上4,200円 小学生以下2,700円  
半日券 3,000円 1,900円  
ナイター券 2,300円 1,500円



## 県民小劇場オルビス

富山駅前マリエラ階  
076(44)54331

**オルビスと巡る「舞台芸術・芸能一発見ライブ」**  
Vol.16 即興ダンスっておもしろい!  
[2/11(祝) 18:30~]  
出演/岩下徹

**ダンスワークショップ**  
[2/12(土) 14:00~17:00]  
ダンスは初めてという方もお気軽にご参加ください。

ともに3,000円



# 県民のひろば

県では、県民の皆さんの声を県政に反映させるための公聴活動に力を入れています。今回は、皆さんから寄せられたご提言やご意見の中からいくつかを挙げて紹介し、これに対する県の考えや取り組みをお知らせします。

## 農家の生産意欲の向上について (70代 男性)

農業の中でも米づくりは、機械化の負担や米価の見通しを考えると先行きに不安を感じる。生産意欲を向上させる適切な指針を示してもらいたい。

▼農家の皆さんに意欲を持って米づくりに取り組んでいただくためには、おいしい富山米を低コストで生産し、消費者に安定した供給ができる体制を確立していくことが大切です。▼県では、全国に先駆けて美味しい米づくり対策に取り組んでおり、本県産のコシヒカリは4年連続で食味ランキングで「特A」という最高の格付けを受けました。▼また、農家の皆さんと協力しながら、集落営農や直播栽培などの普及に努めています。▼さらに県では、来年3月までに、農家の皆さんが意欲を持って農業に従事し、豊かな農村社会を構築できるよう、農業に関する長期計画の見直しを行うことにしています。



■農林水産部生産流通課

## 県主催行事での託児サービスについて (30代 女性)

子育て中でも積極的に社会参加できるように、県が主催する行事には託児サービスをお願いできないでしょうか。



▼県では、子育て中の方が気軽に文化活動などに参加できるようにするため、県や文化振興財団が開催する催しに臨時保育室を設置して、乳幼児を無料で預かりする事業を実施しています。▼平成11年度は、県民カレッジの夏季講座、こどもみらい館のおもちゃ講座、高岡文化ホールのコンサートなどについて、全部で60回の臨時保育室を設置しました。▼また、昨年7月にオープンした「とやま健康パーク」には「ちびっこ室」があり、乳幼児を無料で預かりしています(乳児は事前予約が必要)。

■厚生部児童家庭課

## ホームヘルパーの養成について (60代 女性)

介護保険制度の実施を前に、ホームヘルパーの不足が心配されています。年齢を問わず意欲のある方に呼びかけて、有資格者を増やすべきではないでしょうか。

▼4月から実施される介護保険制度のうち、在宅サービスについては、訪問介護(ホームヘルプ)事業が柱となります。このため、その担い手となるホームヘルパーの養成が重要です。▼県内のホームヘルパー養成研修の修了者は昨年3月末現在で延べ4,500人にのぼっており、今年3月までには、さらに1,000人以上の養成を見込んでいます。▼また、県では今年度から新たに、元気な高齢者を対象にしたホームヘルパー養成研修を実施するとともに、元気な高齢者によるヘルパー活動に助成しています。この取り組みにより、高齢者の豊かな経験や能力を活用したヘルパー活動が充実するものと期待しています。



■厚生部高齢福祉課

## 違法看板の撤去について (50代 男性)

道路の電柱などにピンク看板を立てかけてあるのをよく目にするが、このような違法看板は、通行の邪魔になるし、青少年に悪影響を及ぼす。早めに撤去してほしい。

▼警察署員が現場で確認したところ、ご指摘の立て看板は、既に市の屋外広告物対策協議会によって取り外されています。▼違法な立て看板等については、各市町村が協議会を結成し、週1回除去作業を行っています。また、住民からの連絡があれば、そのつど個別の除去作業も実施しています。▼街頭で違法な立て看板を発見した場合には、遠慮なく各市町村又は警察署へ連絡してください。



■警察本部生活安全企画課

## ビジネスチャンスを生み出すための施策を (30代 男性)

新しい事業を起こしたいと思うのですが、県内には情報が少なく、どうしたらよいかわかりません。このような時に応援してくれる制度があれば、富山県の発展にもつながると思うのですが。



▼県では、県内企業や個人起業家による新規創業や新事業展開を促進するために、研究開発、経営、技術などの各種支援施策を積極的に展開しています。▼昨年7月には、(財)富山技術開発財団内に「新事業創出相談センター」を設置するとともに、産業支援機関や試験研究機関、大学などとネットワーク化を図り、商品の研究開発から事業化までを総合的に支援する体制(プラットフォーム)を整備しています。▼プラットフォームでは、同センターを中心に、新事業創出に関する相談や情報提供を行うとともに、フォーラムや交流会を開催しています。ぜひご利用ください。

■商工労働部商工企画課  
新事業創出相談センター ☎076(433)6788

これからも次の方法で、いろいろな声をお寄せください。

■知事へのはがき  
県庁窓口や県刊行物センター(県民会館1階)、市町村役場窓口に備え付けてあります。

■県民相談電話・FAXなど  
TEL 076(431)3131 ※時間外は留守番電話  
FAX 076(444)3300  
電子メール koho@pref.toyama.jp

●問合せ・ご意見は、企画部広報課まで TEL 076(444)3133

# とやま 音のある風景

## 春の福を呼ぶ 小さな神の使い

Vol.19  
初午の子供たちの  
雪を踏む音  
●利賀村



白い静寂に包まれた冬の山里。サクサクサク：と子どもたちが、雪を踏みしめる音が重なり合う。先頭に可愛い神主さん、揃いのはつぴに豆絞りの子どもたち。利賀村の初午はつづまの行列である。

「乗りこんだ乗りこんだお馬が乗りこんだ春の初めの初午なんぞ」。子どもたちは、家の上がると、祝詞のりとを上げ、大きな声で初午のうたを歌う。軽快な太鼓と歌声に合わせて、赤い紐をつけたワラの馬が、首の鈴を鳴らしながら景気よく前後に動く。最後に、俵ひょうころがしが、重そうに俵をころがす滑稽な動きで福をその家に運び込む。初午は、五穀豊穡と養蚕の繁栄を祈り、約一八〇年前から行われてきた旧正月の祭事である。練習から当日まで、一切を子どもたちだけで行うのが特徴で、今年は一月十六日に家々を回る。

ご祝儀をもらうと、また次の家へ。神の使いという「大役」に、どこか誇らしげな顔が静かに続く。時折、チリンチリンという鈴の音が山あいにはびこり込んでいく。

※県内五十箇所「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。

### 編集部から

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

#### 主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

#### 定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

#### あて先

〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課  
「県広報とやま」定期購読係

2月号は通常版です。2月1日に発行予定です。

## 1963

昭和38年1月16日(水)

シリーズ  
とやま20世紀

### 記録的な積雪量で県民生活を直撃

サンパチ

#### 38豪雪

この年の1月、日本付近は冬型の気圧配置が続き、県内は中旬から激しい雪となった。1月16日、富山地方気象台は大雪警報を発令、雪は25日頃をピークに月末まで降り続き、最深積雪は富山で186cm、伏木で225cm。国道や国鉄が長期間不通となり、生鮮食品の入荷が途絶えるなど、県民生活は大きな影響を受けた。連日除雪作業に追われた人々は、冬季交通確保の重要性を痛感し、その後、道路除雪の機械化や消雪パイプの整備など克雪対策が進展する契機となった。今では、雪の季節も交通は大きな混乱もなく確保され、雪は、克服するだけの対象から、レクリエーションなどの機会や観光資源として利用し親しむ対象にもなってきた。38豪雪は、「克雪」から「利雪」「親雪」と連なる富山県の総合雪対策の原点ともいえる出来事であった。

